

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第385号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年12月22日 19時30分ごろ	
発生場所	兵庫県南あわじ市 門崎灯台から真方位049° 1,500m付近 (概位 北緯34° 15.1′ 東経134° 40.4′)	
事故等調査の経過	平成21年12月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 こんびら2、392トン	
船舶番号、船舶所有者等	129874、大内海運有限会社	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士(航海)	
死傷者等	なし	
損傷	船底に凹損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、石膏約1,100トンを満載し、播磨灘を自動操舵で航行中、船長が居眠りに陥り、平成21年12月22日19時30分ごろ、南あわじ市阿那賀の伊毘海岸に乗り揚げた。</p> <p>本船は、翌23日、タグボートの支援によって離礁し、ダイバーによる損傷調査を受けたが航行に支障がなく、自力で須崎港に入港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：うねり なし、波高 なし、潮汐 下げ潮の中央期</p>	
その他の事項	本船に居眠り防止装置は設置されていなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、播磨灘を航行中、船橋当直中の船長が疲労はなかったものの、天気が良く、付近に他船がないことから、気が緩んで居眠りに陥り、変針予定場所を通過して伊毘海岸に向けて航行し、同海岸に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が播磨灘を航行中、船橋当直中の船長が居眠りに陥ったため、変針予定場所を通過して伊毘海岸に向けて航行し、同海岸に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	